

市議会だより



6月定例会、議員賛否
一般質問
総務文教常任委員会
市民福祉常任委員会
産業建設常任委員会

P2~3
P4~11
P12
P13
P14

いきいき広場・委員会構成変更
広報編集委員会が変更になりました。
広報委員長挨拶・表彰。
おでかけ市議会

P15
P16

■笑顔あふれる園児たち
白岩小百合保育園 七夕お楽しみ会



— 6月定例会 —

令和2年度一般会計補正予算

補正額 4億7,113万円を可決 累計247億1,313万円に
「プレミアム商品券事業」「宿泊支援事業」など新型コロナ経済対策予算を可決

令和2年第5回定例会が6月4日から6月26日までの23日間開催され、「仙北市市税条例の一部を改正する条例制定について」、「仙北市特別職の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について」などの条例改正案の他、新型コロナウイルス感染症対策を盛り込んだ「令和2年度仙北市一般会計補正予算(3号)(4号)(5号)」など、合計30件について審議されました。新型コロナウイルス感染症拡大による市内経済の落ち込みに対する対策として、秋田県のプレミアム宿泊券に対する上乘せ事業や、市内で使用できるプレミアム商品券発行事業の他、様々なコロナ対策関連予算が可決されております。

**6月定例会
可決・承認された主な議案**

- ◇仙北市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市市税条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市農林業振興施設条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市公民館条例の一部を改正する条例制定について
- ◇令和2年度仙北市一般会計補正予算(第3号)(第4号)(第5号)、国保特会補正予算、温泉、水道事業会計補正予算
- ◇仙北市雲沢財産区管理委員選任につき同意を求めることについて(全6件)
- 請願 秋田県主要農作物種子条例の制定を求める請願、他1件
- 意見書 地方財政の充実・強化を求める意見書、他3件

議決結果/議員賛否 令和2年 第5回 仙北市議会定例会(招集日:6/4 最終日:6/26)

凡例：賛→賛成、反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	会派及び氏名 件名	議決月日	議決結果	議員																
				善生会					クラブ民					公明党	共産党	無党派				
				小林幸悦	高橋 蒙	田口寿宜	八柳良太郎	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	稲田 修	伊藤邦彦	阿部則比古	荒木田俊一	小木田 隆	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二	
議案第70号	財産の取得について (新角館庁舎備品 市民スペース・キャビネット等)	6/4	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
議案第85号	令和2年度仙北市一般会計補正予算(第4号)	6/26	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	反
議案第95号	令和2年度仙北市一般会計補正予算(第5号)	6/26	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

本会議・予算常任委員会 6月定例会で審議された補正予算

補正予算の主な内容

子育て世帯への臨時特別給付金事業費	2,568万円	新型コロナにより国が子ども1人につき1万円を給付
仙北市子育て世帯応援事業費	5,731万円	国の臨時特別給付金と併せ、市独自で子ども1人につき2万円を支給
水道事業会計補助金	2,303万円	4～5月分の水道基本料金を減免。新型コロナによる経済負担の緩和
温泉事業会計補助金	415万円	宿泊温泉施設等におけるコロナ対策として、4月、5月分の温泉供給料金を減免
新規事業継続チャレンジ支援事業費	1,001万円	コロナ経済対策 新規事業展開や事業形態の転換などを支援
仙北市物産オンライン販売促進事業費	251万円	市内の土産品、特産品、伝統工芸品などのオンライン販売支援
教育旅行農泊推進地域元気づくり事業費	82万円	県内を中心に小中学校の教育旅行誘致に取り組む
田沢湖・角館観光協会補助金	500万円	新型コロナによる観光協会の事業費の不足分を補助
仙北市プレミアム商品券事業費補助金	9,700万円	市内で利用できるプレミアム商品券を発行
仙北市プレミアム宿泊支援事業費	3,755万円	県のプレミアム宿泊券利用者に対する上乗せ割引
仙北市タクシー事業者支援事業費	190万円	コロナにより打撃を受けたタクシー事業者を県と協調して支援
ふるさとのきずな市内出身学生応援事業費	2,108万円	市内出身者の大学生等に特産品を届ける

6月24日予算委員会

観光協会補助金500万円を減額する修正案が提出される

理由 観光協会のみならず、商工会、物産協会等、他の公共的団体もコロナにより大きな影響を受けており、なぜ観光協会のみが補助金を増額されるのか。公平性がない。また、拠出するにしても時期尚早でもある。

賛成討論 提案理由に同感である。協会が運営する臨時駐車場の在り方にも疑義があるため反対。

反対討論 協会が運営している臨時駐車場の在り方や、市の普通財産貸付の手続き等には指摘のとおり大きな疑義があり今後見直されるべきだ。しかし、今はコロナ対策を強力に押し進める時期だ。誘客活動やその他の対策を早急に行うことを条件に補助を認める。

修正案の採決結果 (委員長は除く)

賛成	反対	結果
5	10	賛成少数で修正案は否決

原案の採決結果 (委員長は除く)

賛成	反対	結果
10	5	賛成多数で原案可決

本会議・予算委員会での質疑

質問 新型コロナ 観光協会への補助金や武家屋敷駐車場の運営は適正なのか？
質問 新型コロナの影響で、さくら祭りが中止となり併せて観光協会に運営を任せている駐車場も閉鎖した。それにより観光協会の収入が減ったため、市が追加で500万円補助するとしているがその根拠は何か。また、武家屋敷駐車場を協会に賃貸するにあたり、契約書など適切な書類は存在するのか。

答弁 駐車場の賃貸に関して契約書はないが、条例に基づき使用許可によって無償で貸し付けている。
質問 無償で賃貸して駐車料金の収入は協会が得るとするのは、他の公共的団体もある中で不公平ではないのか。駐車場収入が無くなったからそれを補填するという考え方はおかしいのではないか。
答弁 損失の補填ではない。駐車場に関しては、普通財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の第4条の規定により無償で貸与しているものである。観光協会では、駐車場も含め他の収益事業もほとんど見込めなくなり、広告宣伝事業なども1,000万円以上も予算を減額しなければならぬ状況である。一方

で、観光復興事業は今から取り組む必要もある。従って、今回の補助がなければ、今後の協会の事業運営に大きな支障があることを理解して欲しい。
質問 まだ昨年度の決算も出ていない段階で500万円補助して欲しいというのはいかがなものか。既に市では3,000万円の補助も出しているし、指定管理料も拠出している。時期尚早ではないのか。
答弁 臨時駐車場としては条例などもないため今後の課題である。500万円の補助金だが、協会の方々と具体的取り組みを精査していく必要があるが、今後の事業展開もあることから拠出時期については理解して頂きたい。



養生会 武藤義彦 議員

新型コロナウイルス・今後の誘客施策は？

市長

「仙北ロードマップ（仮称）」の作成に着手、実行していく

新型コロナウイルス感染症対策を問う

質問 市内で休業を余儀なくされた、飲食業・宿泊業等の昨年同期比の減収・入込客数の現状を伺う。また、解雇等による失業者はどうか。

答弁 定時測定が困難であるがイメージし易い形で比較に挑戦した。4月・5月の減収は、飲食業で74・55%の減少、宿泊業は85・71%の減少である（事業継続支援金の交付申請書類等記載数字を参考）。田沢湖地域の温泉施設の日帰り客数が前年同期比97・8%減少の9,420人（昨年42万7,796人）、市全体の宿泊者数が92・4%減の7,105人（昨年9万3,029人）となった。

新型コロナウイルス感染症による解雇等の状況は、角館地区の小売業一店舗が閉店し、その従業員3名となっている。

質問 渡航禁止により市を訪れるインバウンド観光客も激減したが、回復には数年を要すると考える。今後の誘客施策をどう展開していくのか。

答弁 2019年の仙北市の外国人宿泊者数は3万7,

735人で、全体の50万4,967人の7・5%に当たる。日帰り観光客に関する統計はないが、全体に占める割合は少なくないと推測される。

国際航空運輸協会では、航空旅客が2019年の水準に回復するには、国内線は2021年末、国際線は2023年末と見込んでいる。今は戦略的に事業を打ち出す新観光ビジョンが必要で、既に「仙北ロードマップ（仮称）」の立案に着手した。様々に変化するフェーズや世論・世情に対し、時宜を得た効果的メニューを発動する準備を進める。

大曲鷹巣道路の国直轄予算について

質問 国の今年度予算に大覚野峠区間の直轄工事調査費が計上されたが、これは県のルート案の検証であり国の判断待ちとなる。この調査によりルート案が認可されない場合は直轄としての事業は打ち切りとなるのか。

答弁 国としては今年度の調査は、事業化の前段階の話であり、事業の打ち切り、又は中止、廃止という考え方はないと認識している。能代河川

国道事務所が8月頃から地質調査を予定していると聞いている。大覚野峠区間を含めた国道105号大曲鷹巣道路の整備は、長年の悲願である。

国土交通省、財務省などに出るだけ早期に事業要望に伺いたい。

（門脇晃幸記）



■早期整備が期待される大曲鷹巣道路（大覚野峠）

新型コロナ 積極的な経済対策を求める

蒼生会 高橋 豪 議員



市長 プレミアム商品券発行など多数予定している

新型コロナ 感染予防対策と医療体制の整備を

質問 今後市内で感染者が発生した場合の対応について問う。また、医療機関同士の連携や、クラスター対策、軽症患者の一時的療養施設の確保など、あらかじめ体制を整えておく必要があると考えるが現状と対策について伺う。

答弁 仮に今後感染者が発生した場合の対応だが、まずは県の帰国者・接触者相談センターへ電話連絡し、その判断で検査が必要なら管轄保健所が検査実施医療機関を紹介する。陽性が確認されると県から市対策本部へ連絡が来る。市は直ちに対策本部会議を開催するが、原則として市の発表ではなく、県が管轄保健所を公表し感染者情報を発表することとなる。市では、例えば感染者が学校や公共施設を利用していた場合などは、当該施設の消毒作業にあたる。同時に、住民には不要不急の外出を控えるよう呼

びかけをし、公共施設の閉鎖などさらなる感染拡大防止の対策を講じる。現在、市立角館総合病院では、新型コロナウィルス感染症対策本部を設置して、院内感染防止対策や受け入れ体制の整備に取り組んでいる。今後、秋田県からの要請があった場合、現時点では病床2床で、軽症から中等症患者を受け入れることを想定している。また、クラスターの発生などフェーズ5（蔓延期）を想定し、最大11床まで増床するため準備中



■新型コロナ患者の受入れに使用される精神科病床（角館総合病院）

ある。

また、大曲仙北医師会では、地域の医療崩壊を防ぐことを目的に、感染症仮設診療所を7月から大仙市に開設する。受診者は、ドライブスルー方式で検査が行われる。

軽症・無症状向け宿泊施設は、県が現在のところ秋田市のルポールみずほに設置し、受け入れ可能な状況である。これは県が直接要請するものだが、市では事前に協定を締結している秋田県旅館・ホテル生活衛生協同組合仙北支部と協議を行い、協力可能との回答を頂いている。

市内経済が大打撃 速やかに対策措置を

質問 新型コロナによって市内経済が甚大な被害を受けている。既に実施している事業継続支援金制度の状況や、新たな経済支援策について問う。

答弁 事業継続支援金制度については、6月12日現在での申請件数が308件で、申請額は6,680万円となっている。内訳は、飲食・宿泊業が52件の1,560万円、それ以外が256件で5,120万円である。5月11日

から申請受付を行っていたが、6月30日まで申請期限を延長した。必要な方々にしっかり届けられるよう対策したい。また、新たな経済支援策としては、市内事業者の新規事業展開や事業形態の転換など新たに必要となる経費を支援する「新規事業チャレンジ支援事業」や、農家民宿等を利用した県内教育旅行に対する補助、県のプレミアム宿泊県への上乗せ事業や、タクシー事業者への支援、プレミアム商品券発行事業など多数を予定している。

（高橋 豪 記）



■コロナ経済対策プレミアム商品券が8月8日から発売される



市民クラブ 小木田 隆 議員

市有財産は財源確保に生かされているか

市長

未使用財産の処分は進んでいない状況にある

未使用財産の処分に計画性を

質問 財源確保のために、未使用財産の処分をするとしていくが、進んでいない。リストを作って、市長・副市長が先頭に立って進めるべきと思うが所見を伺う。

答弁 予算の財源調整に難儀している現状がある。個別施設の計画書作成もできていない。不要施設・財産の売却等による歳入の増収対策を積極的に進めていきたい。

質問 売却できるものを精査し、財源確保にスピード感をもってほしいがどうか。

答弁 公売可能な土地を洗い出し実績をつくっていくようにする。例えば、寿楽荘の跡地なども公売可能な状況になっていくようなので、スピード感をもって対応したい。

旧角館高校グラウンドの観光協会に対する貸付を問う

質問 観光協会への貸付の期間と貸付金額を伺う。また、契約書はあるのか。

答弁 普通財産のため、使用許可のもと繁忙期の臨時駐車場

場として使用させる約束をしている。

質問 使用料は徴収していないのか。

答弁 田沢湖・角館観光協会では年間、9,000万円ほどの事業を行っているが、市ではそれに対し、毎年3,000万円程度補助している。協会は公共的団体のため使用料は徴収していない。また、駐車場収入は宣伝広告費用の財源として活用して頂くようにしている。

質問 旧角館高校グラウンドは、伝建群地内のため、建物は建てられない、売られない、貸されないとされている。旧角館町では、臨時駐車場条例により、花見期間中のみ有料で行った経緯がある。だからといって今も駐車場として使ってよいことにはならないのではないか。

答弁 市の普通財産を臨時駐車場として利用、管理し



■適正なあり方が求められる臨時駐車場（旧角高グラウンド）

ていく規則が整っていないという指摘を受けたと理解する。条例の見直し等が必要である。

質問 普通財産を無料で貸す条例はない。営業行為をしているところに無料で貸すことへの所見を伺う。

答弁 観光協会は公共的団体として430社の方々が加入している。公共的団体の維持保全や成長の手法として無料で貸している。駐車料の管理

をお願いし、駐車料金を活動の財源として充てて頂くこととしている。

質問 補正予算では、コロナ経済支援対策として、観光協会に対する500万円の補助金が計上されているが、市民に不公平感を与えないか。

答弁 商工会のほとんどの方が観光協会にも入っている。少しでも早く回復基調に乗せ、市民生活を安定させるための大きな一助になると考える。

質問 補助金・指定管理料合わせて6,000万円近い金額が出ていくのに、6月補正予算で更に500万円を拠出するのは時期尚早ではないか。

答弁 駐車場では、1,000万円以上の収入減になった。観光協会では、事業の精査中と聞いているが、これにより既に赤字決算が見込まれている。7、8月に手を打たなければ、9月以降の観光客入込みは確保できない。仙北市は、秋田県の観光の大きな牽引役のため、早急な対策が必要であり、今、手を打つことをためらってはいけない。

(平岡 裕子 記)

新型コロナに対応した医療体制の整備は万全か

公明党 熊谷一夫 議員



市長

LAMP法での検査や感染患者の受入れ準備を進めている

新型コロナに対応した医療体制の整備について

質問 感染者拡大に備えたPCR検査態勢は進んでいるか。また、万が一の感染患者の受入れの準備は進んでいるのか。

答弁 角館総合病院は、短時間でウイルスを検出できるLAMP法の検査態勢を導入済みである。また、現在の感染患者の受入れは2床だが、蔓延期は11床に増床する。医療スタッフの人選や医療物資・設備の準備も進めている。

避難所でのコロナ感染防止対策の強化を!

質問 災害発生時の避難所における「3蜜」防止対策を伺う。また、避難所で発熱等の症状が出た方の対応はどうか。

答弁 避難所の3蜜防止のため、学校の空き教室、親戚・知人宅の活用や災害協定を締結している旅館・ホテルなども活用し、避難所の増設を計画している。また、発熱者等の対応は、空き教室を活用するなどして個室を確保し、ト

イレは一般の方と区分して衛生環境を整備したい。

質問 国の第2次補正予算には避難所の段ボールベッドやパーテーション、マスク、消毒液などの配備も盛り込まれているが、仙北市ではどこまで準備しているのか。また、避難所である体育館の雨漏りの修繕やエアコンも設置するべきではないか。

答弁 パーテーション(4部屋セット×2)、仕切り用段ボール(50枚)、パネルボード(100枚)、マスク(1万枚)、消毒液(180ℓ)、非接触型体温計(5台)、エアベット(10基)を準備した。また、体育館の整備は、活用できる財源を見極めて検討したい。

小・中学生のオンライン学習の推進について

質問 新型コロナによる臨時休校により、オンライン学習の必要性がより一層高まっている。仙北市も小・中学生の全家庭と学校とのオンライン化を早急に進めて欲しい。また、小・中学校でのパソコン等の1人1台配付はいつ頃になるのか伺う。

答弁 (教育長) 各家庭のインターネット環境を調査した。1割の家庭に不備があり、タブレット端末等の貸与と通信料の補助により、全家庭と学校をオンラインで結びたい。また、小・中学生への端末の1人1台配付は、国が各自治体の意向調査を進めており、補助事業としての内示後に速やかに実施したい。

災害時等に活躍できる給水車の導入について

質問 仙北市で保有している給水車は、タンクからの送水が自然落下の古いタイプである。高所にある受水槽へも送水可能な圧送能力を備えた給水車の導入は、災害時や水道の漏水時、各種イベント時の散水などにも効果を発揮することから、早期の購

入を提案する。
答弁 給水車は2台保有しており、H17年式とH19年式である。圧送能力を備えた給水車の必要性を痛感している。出来る限り国庫等の事業を活用し、来年度の当初予算で導入できるよう努力したい。

(高橋輝彦記)



■平成19年式の角館地区配備の給水車

用語解説

LAMP法の検査とは…栄研化学が開発した遺伝子増幅技術で簡易検査に適しており、短時間で新型コロナウイルスを検出できる。

JR角館駅東西自由通路の早期整備を

高久昭三 議員



市長

財源確保策を検討し、JRとの協議を継続する

事業者への新型コロナウイルス対応に万全を

質問 コロナ感染の影響を受け苦境に苦しむ市内事業者への事業継続支援は万全か。

答弁 仙北市新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援金の申請件数は6月15日で311件、金額では6,750万円となっている。今議会の補正予算では、新規事業の展開や事業形態の転換などに新たに必要となる経費を支援する、「新規事業継続チャレンジ支援事業費」について提案している。国・県の経済

対策と合わせ支援をさらに進める。

JR角館駅東西自由通路の早期整備を

質問 JR角館駅の東西自由通路設置について、現在の進捗状況を伺う。

答弁 2月に秋田支社を訪れた際、木村支社長と東西自由通路について意見交換をした。市の考え方は理解頂いているものと思っている。ただし、原則的に市の予算で行わなければならない、財源確保が必要となる。停滞している訳ではなく、事業に対する協議

は続いており、今後も継続して取り組んでいく。

角館下延地区「大瀬蔵野橋」の架け替えは出来るだけ低予算で

質問 大瀬蔵野橋の架け替え工事の予算をできる限り縮減した上で、内川橋架け替えに向けた基本計画について年度内に策定すべきではないか。

答弁 辺地計画により概算事業費は8億円となっているが、実施段階で可能な限りコストを縮減することは当然である。コロナ禍で色々な支障も出ているが、スケジュー

どおり進め経費縮減に努める。

内川橋の早期整備については、今年度から創設された国の道路メンテナンス補助事業の活用を視野に検討していく。

税務課での様々な対応をより丁寧に行ってほしい

質問 令和2年度固定資産税の減免申請等について、税務課の対応が適切、迅速、丁寧になされているのか伺う。

答弁 今年度の減免については、5月25日まで申請を受け付け、その後調査が完了した方には6月1日付で承認通知書を発送した。申請書に一部不備があった方や実態調査に時間を要した方は調査終了後速やかに結果を送付している。市民と行政の信頼関係を損ねるような、また誤解を招くような対応はしない決意で臨んでいる。正確に審査を行うには文書を残す必要があるが、できない方には出向いて説明するなど、一層丁寧な対応に努めたい。

(荒木田俊一記)



■早期整備が求められる角館駅東西自由通路



■補助事業を活用して内川橋の早期整備を！

生保内公園の整備計画は

市民クラブ 稲田 修 議員



市長 公園をどう活用していくかの議論を始めたい



■さみしく感じる生保内公園（野外ステージ）



■散らかしっぱなしの角館東地区公民館

生保内公園の整備計画は

質問 屋外ステージ・遊具は危険性があると撤去され、ステージは屋根なしで完成した。市民の憩いの場である生保内公園の今後の整備計画について伺う。

答弁 総合遊具は、人体に危険があり、使用不可とされたので撤去した。ステージは完成したが、側面も背面も屋根もないものである。市の遊具設置を存続すべき公園等は、田沢湖地区は生保内公園、角

館地区は角館駅東公園、西木地区は湯前山森林公園、屋内型として計画中の西木庁舎1階の市民休憩室スペースの4カ所が考えられる。

質問 公園の中に椅子がある優しい公園を作り上げてほしいがどうか。

答弁 現在、遊園地等の再整備計画はない状況である。今後、生保内公園をどう活用していくかの議論を始めたい。

角館東地区公民館の活用について

質問 角館東地区公民館は荒

れ放題で、各部屋の状況はゴミ置き場である。今後、整理整頓や廃棄が必要だ。このまま放置した状況で次の構想に進むのか。

答弁（教育長） 同公民館は、公民大学や各種サークル団体・スポーツ少年団等の活動の場として活用されているが、老朽化が著しく、様々な事が懸念されている。3階建ての旧校舎は、市役所関係の書類保管や物置として使用している。各部署に収蔵物の再確認、市民への還元、競売・処分を含め整備を実施するよう指示を出す。今後、整備計

画を進めたい。

旧田沢中学校の環境整備を

質問 郷土史料館からのものを含め、旧田沢幼稚園、小中学校の記録や思い出、旧田沢村の歴史を整備し、観光地である本市の移住・定住に結び付けたいがどうか。

答弁 現在、わらび会による山菜や農産物、地場産品の加工品、荷葉工房の田沢ながいもの焼酎販売等を行なっている。また、生ハム熟成施設としても活用している。体育館は多くの箇所が雨漏りしており、利用は厳しい状況である。市の自然文化、歴史等の財産を活用すれば移住定住につながるのと考えは同感である。

答弁（副市長） 郷土史料館の展示物は、田沢交流センターと田沢湖活性化センターに保管されている。文化財課で展示の可否を区分わけている。田沢地域の方々と共に、展示場所も含め具体的な検討を進めたい。

（熊谷一夫記）



蒼生会 高橋輝彦 議員

白岩小学校の適正配置を検討する タイミングは

教育長 意見交換会を来年度から開催したい

質問 厚生労働省から提供されるスマートフォン向け（コロナ接触確認アプリ）の認識は。

答弁 アプリユーザー同士で接触を確認し合う仕組みというところのようだが現在情報収集集中である。このアプリが普及することにより感染症拡大抑止へ一定の効果が期待でき、感染に至る経路の認識も可能との話は聞いている。

質問 経済回復のためにも、市民に対し、イベント等の開催について目安の明示が必要と思うが。

答弁 コロナウイルス感染症対策の緊急広報を4回発行している。イベント開催等については第4号に一定の目安を載せているが、不安のある市民の方々は市役所に問い合わせ頂ければしっかりと対応する。

防災行政無線の難聴 世帯対策を

質問 現行の防災行政無線は

電波法改正後も使用可能であり、市としても災害情報伝達手段として継続使用を表明しているが、難聴世帯の個別無線機の設置要望には迅速に対応できているのか。

答弁 アナログ方式とデジタル方式の混在運用を決定したこと、必要な対応が整理できたとするが、2波混合の運用方法が決まらなかったこと、スピード感がある対応とは言えない状況だ。今後、地域ごとに個別受信機が必要な方々の調査を行い、デジタル・アナログの各受信機をしっかりとストックして難聴世帯に提供したい。

白岩地区の断水 今後は大丈夫か

質問 昨年白岩地区全域で断水があった。この冬の少雪による影響を住民が心配している。対策を講ずる必要はないのか。

答弁 昨年は2回の断水が発生し、水道利用世帯の皆様にはお詫びのしようがない。斎藤川の取水口が通常の状態でも取水できる状況を保ちながら、今年も旧角館町当時に利用していた砂防堰堤下流の導水路も活用する。定期巡回を

さらに強化し、地域の方々にご不便をかけないよう努力する。

白岩小学校の適正配置について考えを問う

質問 白岩小学校では、今年入学の1年生が1名となつている。現時点で、白岩小学校の適正配置を検討するタイミングを伺う。

答弁（教育長） 仙北市学校適正配置に関する提言書では、学校適正配置の検討に入るべきタイミングとして、小学校では継続して複式学級が発生し、かつ全校児童数が50人を下回る場合と

なっている。白岩小学校は、令和3年度全校児童数44名で複式学級の継続も予想されるため、意見交換会を来年度から開催したいと考えている。

（武藤義彦記）



■適正配置の検討が始められる白岩小学校

新型コロナ経済支援対策 本社が県外の事業者への支援は

蒼生会 田口寿宜 議員



市長 今後展開する経済対策で取り組む

新型コロナウイルス感染症各種対策について

質問 緊急事態宣言の発動により、休業を余儀なくされた方や売上が減少した方々に対し、県・市では経済支援策を講じている。しかし、地域に根差して頑張っている事業者が、支援を受けられない事案も発生している。本社が県外、または大企業であるという理由からである。各種公共料金等を頂戴している以上、こうした方々にも支援が行き渡るよう、有事という意識の下に考えを改めるべきではないか。

答弁 大企業に分類されている市内の事業所等においても、売上の減少や休業対応等が発生している事は十分認識している。景気後退の影響を受ける実態に変わりないという思いだ。国・県の経済対策を見極めながらも、今後展開していく市の経済対策の中で、支援を更に進めていかなければならないと考えている。

質問 文化・芸術の分野にも甚大な影響が出ている。国の第2次補正予算において、緊

急支援策が計上された。制度の内容を把握し、文化・芸術の関係者の方々に最大限有効活用して頂くよう、周知の徹底と申請に対するサポート体制を構築するべきではないか。

答弁（教育部長） 国の制度について詳細な情報収集に努め、対象者の活動内容を精査した上で、周知徹底を図りたい。申請手続きについても全面的にサポートする。

これからのまちづくりを問う

質問 田舎の価値が見直されて来ている今、田舎の良さを引き出す上で必要な事は何かを考えるか。

答弁 これまで不利とされていた過疎地だが、人口密度が低い事で逆に安全性が高い、疎の優位性があるという考え方が次の本流になると思う。地方への分散を加速させる知恵・経験・人材が既に存在している。田舎・自然、これらで先人が築いた文化の継承、このような当たり前の時間の流れが、この後宝物になるという事は間違いないと考えている。

質問 移住定住対策のオンライン対応、田舎の魅力を周知し、空き家や遊休施設・既存の施設等を活用したワーケーションの推進などが今後必要になって来るものと考えているが、所見を伺う。

答弁 オンライン対応については、移住を考えている方の不安や悩みの解消にリアルタイムで応えられる有用な手法だ。既に市内に移住されている方々、大仙宅建懇話会との

連携も模索し、オンライン環境の整備等も同時進行させ、出来る限り早い時期に実施したい。ワーケーションについては、既に市全域で光ファイバーが敷設され、基本的な社会資本が整っているため、大きな投資を行う事なく始動が可能と思う。宿泊施設や遊休施設、公共施設の活用も視野に入れて取り組む事が肝要だ。

（田口寿宜記）



■田舎の価値を見直そう

総務文教常任委員会

新角館庁舎完成後の組織再編を見据え、利用形態に即した西木庁舎の改修工事を行うことに

6月定例会、総務文教常任委員会では、仙北市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定や、一般会計補正予算などが審査されました。補正予算には、新角館庁舎完成後の組織再編を見据え、教育委員会や中央公民館が配置される予定の西木庁舎改修工事予算などが盛り込まれました。

一般会計補正予算 主な内容

政務活動費補助金	▲216万円	新型コロナ対策に充当するため、政務活動費を減額
本庁舎等維持管理費	1億5,220万円	西木庁舎の改修工事費等
庁舎整備事業費	300万円	新角館庁舎に展示する樺細工壁掛けの購入費
図書館安心・安全快適環境づくり事業費	111万円	新型コロナウイルス対策としての書籍用消毒液購入費
仙北市学校給食応援事業	3,326万円	4月から夏休みまでの小中学校給食費の無料化に関する予算



■改修工事を行う西木庁舎事務室

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計予算の主な質疑

西木庁舎改修工事のスケジュールや内容を問う

質問 西木庁舎改修工事の入札はいつ頃の予定か？

答弁 7月上旬には指名審査会に諮り、7月下旬の入札を予定している。

質問 市民休憩室への子ども用遊具はどの程度のものか、また中央公民館として利用するのであれば厨房も必要では？

答弁 遊具は幼児向けで複数検討している。内訳はボールプールや滑り台等5歳未満を想定したものを準備したい。厨房については教育委員会、公民館等と協議し整備しないこととした。公民館事業として必要な場合は、神代就業改善センターもしくは西木保健センターの厨房を利用していただくことになる。

質問 西木庁舎改修費が当初計画より増額となった理由は？

答弁 当初計画では、西木庁舎を長寿命化する工事と居室（はなさき仙北や観光協会等）の工事を分けていたが、今回は工事を一本化したもので総額が若干の増となっている。

災害救助費・災害対策費 コロナ対策の内容は

質問 災害救助費では、コロナ対策としてどのようなものを購入するのか？

答弁 主なものとして、アルコール手指消毒剤、消毒用防護服、マスク等の購入を予定している。

質問 災害対策総務費の内、委託料の内容は？

答弁 平成20年に作成したハザードマップの更新が必要となったことから委託するものである。従来の浸水想定域等

を掲載するが、記述内容については福祉施設の情報や他の行政機関情報も掲載することから、関係部署と調整しながら作成にあたる。

花いっぱい運動 なぜ中止するのか

質問 花いっぱい運動推進事業費を減額したが、花卉農家は例年並みの準備をしていたのではないかと。また、沿道花壇に何もないのは通行する方々も寂しく感じるのではないかと？

答弁 4月中旬に中止を決定し、花卉農家には市民配布用のみの栽培をお願いした。また、沿道花壇には代わりとなるものを検討していくが、当面は雑草だらけにならないよう管理を委託している。

給食費の減免 国からの補助などはないものか

質問 学校の休校は国の指示だが、給食費の減免に国の補助はあるのか。また、地方創生臨時交付金の枠が残った場合は再度減免するのか？

答弁 給食費の減免は市独自の支援メニューであり、財源は地方創生臨時交付金を充てたい。再度の給食費の減免については現在考えていない。

市民福祉常任委員会

国民健康保険 コロナ感染(感染疑いも含む)に対し 傷病手当金支給へ

6月定例会の市民福祉常任委員会では、令和2年度の一般会計補正予算などが審査されました。また、国民健康保険特別会計では、新型コロナウイルス感染症対策を盛り込んだ補正予算案が審査・議決され、加入者の方が、新型コロナウイルスに感染したか、あるいは感染の疑いがあるとされ会社等を休んだ場合、傷病手当金を支給することが決定致しました。

■一般会計補正予算 主な内容

通知カード・個人番号カード関連事業費	10万円	戸籍システム改修に伴い、コンビニ交付の動作確認作業費
生活困窮者自立支援事業費	83万円	住居確保給付金に関する予算(住宅困窮者のため)
民生委員協議会負担金(県からの負担金収入)	16万円	秋田県による民生委員活動費の増額

仙北市地域保育事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

質問 市で居宅訪問型の保育を行う場合、保育料はどうなるのか。夜間の利用は金銭的に大変だと思う。夜の仕事をされている方に対する支援もこれからは必要と思うが、検討の余地はあるのか。

答弁 現在1人の方がベビーシッターとして事業の開始届を出している。ベビーシッター個人が設定した1時間単位の料金となる。今後、利用者の支援内容について検討していきたい。

仙北市国民健康保険特別会計 補正予算～傷病手当金～

質問 国民健康保険の場合、他の保険に比べて手当てがなく病気になると大変である。新型コロナ対策を機会に、傷病手当をコロナ以外に拡充するなど、他の保険制度に近づくような広がりがあればよいと思うがどうか。

答弁 国民健康保険法では、傷病手当金を任意で支給することができる。しかし、財政的課題もあり、今のところ全国の自治体で給付しているところはない。

質問 民生委員協議会負担金について 報酬はいくらになるのか。

答弁 報酬ではなく委員活動費となる。年間1人当たり、市から5万8,400円、県から5万4,300円、合計11万2,700円となっている。

質問 研修や飲食代はどのようになっているのか。個人に活動費が渡るのか。

答弁 旧町村時代のやり方に沿って異なるが活動費で研修をしている。3割ぐらいを現金で渡している。飲食代は自分

で負担することになる。

質問 戸籍システム改修 コンビニ交付の動作確認とは何か

質問 5年ごとにシステム試験を行う必要があるとしているが、どのような内容か。なぜ2人で行う必要があるのか。

答弁 市の戸籍システムが5年更新となっており、その都度コンビニ交付が正しくできるのかを確かめる必要がある。マイナンバーカードを持った職員が、東京都内のJ・R・I・S評価センターで工程試験を実施する。決められた曜日に時間内で、住所・本籍地が同じケースと違うケースなどについて、全ての帳票が正しく発行できるのかを確認しなければならず、作業も非常に多いため2人体制で行う必要がある。

ここが知りたい
議論のポイント

一般会計予算の主な質疑



■子育て支援「保育室ねむねむの木」の様子

産業建設常任委員会

「仙北市民プレミアム商品券事業費補助金」 9,700万円など追加補正

6月定例会、産業建設常任委員会では主に令和2年度一般会計補正予算や中川集落センターを廃止するための条例制定、温泉事業会計補正予算及び下水道事業会計補正予算などについて審査されました。又、議会最終日提出議案「商工費（仙北市民プレミアム商品券事業補助金 9,700万円他）」可決されました。

■一般会計補正予算の主な内容

高収益作物関連支援事業費	540万円	ほ場整備事業後の石礫撤去
新規事業継続チャレンジ支援事業費	1,001万円	事業継続に資する事業に対し支援を行う
空き店舗等活用事業費補助金	97万円	空き店舗利活用者に対し賃借料の一部を補助
仙北市物産オンライン販売促進事業費	250万円	お土産や特産品、伝統工芸品等をオンラインで販売する
教育旅行の農泊推進地域元気事業費	81万円	秋田県内を中心に修学旅行誘致に取り組む
田沢湖・角館観光協会補助金	500万円	駐車場収入の減少により、今後の事業に支障が出るため支援
仙北市民プレミアム商品券事業補助金	9,700万円	市民の消費喚起と地域経済活性化対策

スロ感染
ロナウイ
ル
また、コ
ロナウイ
ル
供給する
ことなる
い源泉
使つてい
な
所有する
後、市で
そのため
今
そのため
今
得られた
いて合意
が
り替えに
つ
ら源泉の
切
の両施設
か
田大学ロ
ッジと休
暇村の2
施設であ
る。こ
吹き源泉
から温泉
を供給し
ているの
は、秋
田大学ロ
ッジと休
暇村の2
施設であ
る。こ
埋めて閉
鎖する方
向が示さ
れた。現
在カラ
吹き源泉
から温泉
を供給し
ているの
は、秋
田大学ロ
ッジと休
暇村の2
施設であ
る。こ



■廃止されるカラ吹き源泉

ここが知りたい 議論のポイント

補正予算の主な質疑

仙北市温泉事業会計補正予算

質問 現在、カラ吹き源泉から温泉を供給している施設はどこか、また、コロナウイルス感染症に伴う今後の事業計画への影響はどうか。

答弁 平成27年のカラ吹き源泉事故後、事故調査委員会を立ち上げ、原因究明と今後の対策等について検討して頂いた。その結果、カラ吹き源泉を存続させることは、また同じような事故が起きかねないことから、埋めて閉鎖する方向が示された。現在カラ吹き源泉から温泉を供給しているのは、秋田大学ロッジと休暇村の2施設である。この両施設の切

「秋田県主要農産物種子条例の制定を 求める請願」を採択

請願理由 主要農産物種子法を廃止する法案が成立し、平成30年4月1日に種子法が廃止されている。秋田県では、種子法の廃止後「主要農産物の種子生産に係る要領」に基づき、種子行政が行われているが、農業生産県として、必要な予算及び関係部署の人員体制を恒久的に措置する観点から、県条例の制定を強く要望する。

採決結果（委員長は除く）

賛成	反対	結果
4	0	委員会採択

策として、4月、5月分の温泉使用料の減免を実施したところだが、影響の長期化が懸念される。今後の温泉事業については厳しさが増すものと想定され、先を見越した対策が必要であると考えている。

仙北市下水道事業会計補正予算

質問 コロナウイルス感染症に伴う水道料金等の徴収対応と今後の事業計画はどうか

答弁 水道料金については、今回のコロナウイルス対策として4月、5月の2ヶ月分の基本料金相当額を7月、8月分の使用料から減額する。月々の使用料についても個別に納付相談を受け付けており、相談者の状況に応じて対応している。今後の事業は、あくまで予定通り計画に沿って進める方針であるが、新型コロナウイルスの影響は避けられないため、今後は方向転換の可能性も考えられる。

いきいき広場

高橋キ又子社中

昨年の郷土民謡民舞全国大会で内閣総理大臣賞を受賞し、2年連続優秀指導者賞に輝いた「高橋キ又子社中」の稽古にお邪魔させて頂いた。

きちんと正座し、「よろしくお願ひします」との礼から始まり、民謡の曲がかかると一人ひとりの踊りをじっと見つめる御年89歳の師匠の眼。少し耳が遠くなったというが、「手をもっと上へ」「最後のお辞儀をきちんと」等の指摘が入る。さすが「佐藤貞子最後の弟子」キ又子先生の眼力である。

現在の生徒は45名。5歳（見習い）から80歳代と年代も幅広い。社中として教えるようになって40年以上になる。毎週一回稽古しているとの事。



■昨年の全国大会で内閣総理大臣賞を受賞した高橋キ又子社中の皆さん。師匠の高橋キ又子先生は2年連続で優秀指導者賞を受賞



■師匠の熱心な指導のもと毎週の稽古に励む。「先生の踊りは宝物です。ずっと続けて次世代へつなげたい」生徒たちの言葉には、伝統芸能継承への意気込みが現れている

コロナウイルスの休み期間中は、舞台衣装の入れや社中独自の踊り専用CD制作にも取り組んだとのこと。

きっかけは「小学校の授業で習い楽しかったから」「礼儀が正しくなるよう」「角館のお祭りでも踊りたくて」等々。「卒業してもずーっと踊っていたい」と全員が明るく口をそろえる。

事務局長の佐藤あつ子さんは「先生の踊りは宝物です。すべて吸収して次の世代へつなげていきたい。」と決意を込めて話す。

曲ごとに「はい！」という凛とした声が響く。伝統芸能を承継する生徒の力強い声に心温まる思いがした。これからも色々な大会に挑戦し頑張り続けていきたい。

（熊谷一夫記）

常任委員会などのメンバー構成が変わりました

（5月8日臨時会）

市議会常任委員会などの任期は2年となっており、5月からメンバー構成が変わりましたのでお知らせ致します。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

議長 黒沢龍己
副議長 熊谷一夫

予算常任委員会

◎荒木田俊一 ○武藤義彦 他全議員

総務文教常任委員会

◎田口寿宜 ○高橋輝彦 武藤義彦
小木田隆 高久昭二 稲田修

市民福祉常任委員会

◎阿部則比古 ○平岡裕子 高橋豪
真崎寿浩 八柳良太郎

産業建設常任委員会

◎門脇晃幸 ○伊藤邦彦 熊谷一夫
荒木田俊一 小林幸悦

議会運営委員会

◎高橋豪 ○小木田隆 門脇晃幸
高橋輝彦 田口寿宜 荒木田俊一
伊藤邦彦

※◎は委員長、○は副委員長

広報編集特別委員会

新たなメンバーで
スタートしました

市議会だよりの編集メンバーが新しくなりました。任期は2年間となりますが、やりわかりやすく、読みやすい議会だより編集に努めて参ります。

広報編集特別委員会

委員長 八柳 良太郎
副委員長 高橋 豪
委員 門脇 晃幸
委員 武藤 義彦
委員 高橋 輝彦
委員 熊谷 一夫
委員 平岡 裕子
委員 田口 寿一
委員 荒木 俊一



全国市議会 議長会表彰

在職15年表彰

黒沢 龍己 議長

在職10年表彰

平岡 裕子 議員

高橋 豪 議員

全国市議会議長会

評議員感謝状

青柳宗五郎 (前議長)

お知らせ

おでかけ市議会開催中

仙北市議会では、市民の皆様と議会議員の意見交換会「おでかけ市議会」を行なっています。

●お申込み先…仙北市議会事務局
TEL0187-43-0334

初心に返る

広報編集特別委員会

委員長 八柳 良太郎

「議員の仕事は市民の生活を豊かにする事である」何年も前のことである。毎年秋田市で開催される秋田県市議会議員研修会での橋本五郎（元読売新聞特別編集委員）氏の講演で心に響いた一言である。議会は党派制を採用しており現在はいくつの党派が存在する。今議会も観光協会への補助金をめぐり賛否が分かれた伝統的建造物群内にある土地の利用の可否と貸借のルールとそして公共的団体等への補助をめぐってである。

8年前、2年交代の編集委員会の委員長を故人の狐崎議員の後を引き継いだ。そのとき「わかりやすい議会だよりをお届けします」と書いた。

編集委員の仕事は通常交代したいはずであるが、総入れ替えではない。しかも再任が多い。議会には前掲のような難問が多いが今回は編集委員一同、わかりやすく伝えるよう頑張れそうである。市民の方々からの評価をいただきたい。

議員には執行権はない。口は出せるがお金は出せない。お金は出せない代り公正で公平で市民から納得できる政策を持ち市民のくらしを豊かにするしかない。